

黒潮町医療構想は

まだできていない



議員 義岩 藤本

問 4年ほど前から医療の問題を提起してきたが現在の黒潮町の医療をどう考え、地域医療をどう進めて行くつもりか。

唯一の公営医療機関である「拳ノ川診療所」の位置づけが見えてこない。

幡多医師会長や医療センターの先生方に大変お世話になり、4診療日が確保され、献身的医療で地域の住民も一安心はしている。しかし、緊急課題の常勤医の募集はどのようになっているか。

答 川村健康福祉課長

現在、協議を進めているが地域の実勢や主体性に基づいた地域医療計画構想には至っていない。

介護保険と医療の連携にも関係するのでこの連携の中で考えていきたい。

答 矢野地域住民課長

診療所医師については、従前の失敗を繰り返さないため、問い合わせの際に地域医療に対応していた、だけるか確認をしております、現在この条件を了承して頂ける医師はいない。

今後も募集を続けながら現状の4診療日に水曜日の開診を検討中。

答 大西町長

医療構想では総合病院のない本町においては拳ノ川診療所の常勤医確保

は一つのパーツに過ぎない。医療と介護の高度な接続を考えていく。

山間部の維持

森林環境税

活用計画は

総合的に
情報集取する

問 近年、木材価格の低下、少子高齢化等もあって山が荒れ、地肌が現れ、少しの降雨でも泥水が流れ、河川には土砂が堆積し河川が氾濫して被害を多くしている。

森林環境税の町への交付が、平成31年度には100万円、徐々に増え平成37年度には2300万円になる推計が出ているが、町は活用計画ができていますか。

また、中山間地域では町が管轄する河川や道路、法定外長狭物(水路、赤道等)の管理が高齢化でできなくなっている。地域整備事業を充実して生活の質を高めることができなにか。

答 今西海洋森林課

森林環境税は、説明会もあつたが詳細は不明だ。生産性を伴う間伐ではなく、未着手の所、荒廃した山などどう施工するのか、住民や森林組合と総合的に情報を収集し対応する。

答 森田建設課長

町ではこれまで津波避難道との整備を進めてきたが、中山間地域では大雨、土砂防災や、日常生活の利便性の向上になるよう現状把握を行い、住み慣れた地域で安全安心に暮せるように財源対策を含め対応を考える。

整備盤基情報

佐賀地区

AMラジオは

要望活動を
する

問 平成24年に佐賀地区はAMラジオが入感しない。高齢者も日々の楽しみに聞きたいし、災害時には情報取得の手段としてテレビ、携帯以上に有効



地域医療の要として常勤医師の着任を待っている拳ノ川診療所

と質問をし、その後の質問でも検討をするのとこのどつたがどのようなになっているか。

置局が難しいのであればその代替え機能は何かあるか再整理をして要望活動を行いたい。

答 大西町長

NHKには要望に行つたが現在置局の予定は県内にない。災害時はFM局を活用してほしいとのことだった。

